

## 平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社フォーサイド・ドット・コム 上場取引所 JQ  
 コード番号 2330 URL http://www.for-side.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 安嶋 幸直  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 飯田 潔 (TEL) 03(5339)5211  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	2,340	16.2	769	-	788	-	962	-
21年12月期第2四半期	2,792	6.5	88	-	183	-	271	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	434	77	-	-
21年12月期第2四半期	117	75	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
22年12月期第2四半期	7,634	6,793	6,793	89.0	3,057	41		
21年12月期	8,522	7,893	7,893	92.5	3,547	73		

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 6,793百万円 21年12月期 7,882百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年12月期	107	00	0	00	-	-	44	00	151	00
22年12月期	-	-	0	00	-	-	-	-	-	-
22年12月期(予想)	-	-	-	-	-	-	78	00	78	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成22年12月期の連結業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,000	14.3	700	-	700	209.8	700	76.0	315	56

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 - 社（社名） 除外 - 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更：無

以外の変更：有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期 2 Q	2,239,659株	21年12月期	2,225,004株
期末自己株式数	22年12月期 2 Q	17,585株	21年12月期	3,086株
期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年12月期 2 Q	2,214,464株	21年12月期 2 Q	2,303,910株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想は発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象に関する注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### 業績

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緊急経済対策をはじめとする政策の効果などを背景に、企業収益に改善の兆しが見られるなど着実な持ち直しを見せる一方で、依然として雇用情勢に厳しさが残る状況が続いています。

モバイル・インターネット業界では、国内における携帯電話加入数が、平成22年6月末時点で11,371万人（前年同期比4.8%増）と堅調に推移しています。また、2009年におけるモバイルコンテンツ関連市場は、前年比12.4%増の1兆5,206億円と、着実な成長を続けており、当社がビジネスの焦点を合わせる「電子書籍」市場については、2009年において500億円（対前年比26.6%増）となり、対2006年比で7.2倍と、その規模を急速に拡大しております。

スマートフォンについては、2009年度以降、世界規模でその利用が急速に拡大し、携帯電話に占める割合が高まるものと予測されています。また、スマートフォン向けのアプリケーション市場についても、販売台数同様に飛躍的な成長を遂げるものと見込まれています。

（出所：携帯電話契約数／社団法人電気通信事業者協会、モバイルコンテンツ市場動向／モバイル・コンテンツ・フォーラム）

このような状況下において、当社は、世界各国の出版社から電子書籍の配信権利獲得と、様々な端末に適応するマルチビューワーの開発、SNSサイト向けアプリケーションの開発とその提供に取組みました。また、再成長戦略にて掲げております「事業ポートフォリオの組み換え」のため、非注力サイトの整理を引続き行っております。

その結果、売上高につきましては、サイト統廃合の影響により、減収となりました。利益につきましては、欧州の信用不安の広がりで欧米の株価が下落、為替相場も円高基調となり、資金運用の一部がその影響を受けました。また、第1四半期及び第2四半期での、コンテンツ資産売却による当該資産の全額費用化及び、第3四半期以降に見込んでおりました広告保証金の全額取崩が影響し減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,340,562千円（前年同期比16.2%減）、営業損失769,327千円（前年同期は88,486千円の営業利益）、経常損失788,129千円（前年同期は183,225千円の経常利益）、当四半期純損失962,788千円（前年同期では271,274千円の四半期純利益）となりました。

#### 事業の種類別セグメント

##### ( )コンテンツ事業

コンテンツ事業では、世界各国の出版社から電子書籍の配信権利獲得と、様々な端末に適応するマルチビューワーの開発、SNSサイト向けアプリケーションの開発に取組み、引続きスマートフォン向け電子書籍素材のアプリケーションの大量投入に取組んで参りました。しかしながら、事業ポートフォリオの組み換えによるサイト統廃合が影響し、売上は減収となりました。

この結果、当該事業の売上高は1,860,980千円（前年同期比27.2%減）、営業損失526,180千円（前年同期は484,377千円の営業利益）となりました。

##### ( )マスターライセンス事業

マスターライセンス事業では、引続き、事業ポートフォリオの組み換えに伴う、ノンパッケージ商品の売上を計上しております。

この結果、当該事業の売上高は169,039千円（前年同期比28.9%減）、営業利益は29,410千円（前年同期比610.6%増）となりました。

##### ( )ファンディング事業

ファンディング事業につきましては、前年度まで営業外損益として認識しておりました各種金融取引業務を事業部化したしました。当四半期においては、景気は新興国経済の拡大等を背景にしながら輸出の増加や生産の持ち直し、企業の業況判断の改善等がみられ、穏やかながらも回復基調となりましたが、この間の証券市場動向は、欧州の信用不安の広がりで欧米の株価が下落、為替相場も円高基調となり、資金運用の一部がその影響を受けました。

この結果、当該事業の売上高は217,224千円、営業利益は24,012千円となりました。

なお、当社は、当第2四半期連結累計期間より、「ファンディング事業」を新たに区分したため、前年同四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

##### ( )その他の事業

その他の事業では、モバイルコンテンツのプロモーション代行、請求収納代行業務の取次を中心に事業展開いたしました。

この結果、当該事業の売上高は93,317千円、営業損失は24,054千円となりました。

なお、当社は、当第2四半期連結累計期間より、「その他の事業」を新たに区分したため、前年同四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

#### 事業の所在地別セグメント

##### ( )日本

電子書籍に特化した、スマートフォン、モバイル、e-books Reader、PCへ配信提供を進めるためのビューワー開発、アプリケーション開発に経営資源を集中しました。

この結果、当該事業の売上高は2,312,649千円（前年同期比11.1%減）、営業損失は414,446千円（前年同期は542,834千円の営業利益）となりました。

##### ( )北米

世界各国のアグリゲーターを使つての電子書籍事業の拡大や、各種スマートフォンの端末に向けた、アプリケーションの開発と配信に取り組みました。

この結果、当該事業の売上高は27,913千円（前年同期比85.5%減）、営業損失は82,177千円（前年同期は54,100千円の営業損失）となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

##### 総資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて888,274千円減少し7,634,138千円となりました。主な要因と致しましては、回収による売掛金の減少322,447千円、償却・除却等によるコンテンツ資産及びソフトウェアの減少96,990千円、その他流動資産に含まれる、広告保証金の293,560千円の費用化等によるものであります。

##### 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて1,100,008千円減少し6,793,797千円となりました。主な要因と致しましては、新株予約権の行使による増資で58,385千円増加したものの四半期純損失の計上962,788千円、剰余金の配当97,764千円等によるものであります。

##### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて16,828千円減少の4,842,068千円となりました。なお、各キャッシュ・フローの状況等につきましては以下のとおりとなっております。

##### ( ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は191,546千円（前年同期は66,896千円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失 847,876千円を計上したものの、広告保証金の取崩による前払費用の減少435,097千円、回収による売上債権の減少322,447千円、未払金の増加額166,720千円等があったことによるものであります。

##### ( ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の投資活動による資金の減少は93,016千円（前年同期は1,163,073千円の減少）となりました。これは主に、差入保証金の回収により30,689千円増加したものの、貸付けによる支出 82,068千円、無形固定資産の取得による支出 55,658千円等があったことによるものであります。

##### ( ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の財務活動による資金の減少は116,086千円（前年同期は463,671千円の減少）となりました。これは主に、株式の発行による収入で42,206千円増加したものの、自己株式の取得による支出 63,786千円及び、配当金の支払額 94,065千円によるものであります。

#### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、下期の市場動向及びその業績に与える影響が不透明なため、前回発表予想の数値を据え置くことといたします。今後の業績の推移に応じて修正の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

#### 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### (金融商品等の取引に係る会計処理)

金融商品及び金融派生商品の取引から生ずる損益については、従来、営業外損益に計上しておりましたが、当該損益のうち余剰資金の運用を目的とする取引に係る損益はファンディング事業の成果として認識することとなり、今後さらにその重要性が増すと見込まれるため、当第2四半期連結累計期間より売上高または売上原価として計上する方法に変更いたしました。なお、相場変動リスク等のヘッジを目的とする取引から生ずる損益については、従来通り営業外損益に計上しております。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、売上高は217,224千円増加、売上原価は182,155千円増加、営業損失は35,069千円減少しておりますが、経常損益以下に与える影響はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,878,574	4,896,879
売掛金	1,277,458	1,599,905
コンテンツ資産	239,613	329,872
その他	636,649	921,713
貸倒引当金	220,896	162,265
流動資産合計	6,811,400	7,586,105
固定資産		
有形固定資産	12,839	15,117
無形固定資産	236,822	243,677
投資その他の資産		
その他	574,794	679,124
貸倒引当金	1,718	1,613
投資その他の資産合計	573,075	677,511
固定資産合計	822,737	936,306
資産合計	7,634,138	8,522,412
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	237,033	226,427
その他	579,330	371,498
流動負債合計	816,363	597,925
固定負債		
その他	23,976	30,680
固定負債合計	23,976	30,680
負債合計	840,340	628,606
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,141,876	4,112,684
資本剰余金	3,444,279	3,512,850
利益剰余金	495,852	466,936
自己株式	72,906	9,119
株主資本合計	7,017,397	8,083,351
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	155,165	132,165
為替換算調整勘定	68,434	68,418
評価・換算差額等合計	223,599	200,583
新株予約権	-	11,037
純資産合計	6,793,797	7,893,806
負債純資産合計	7,634,138	8,522,412

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,792,612	2,340,562
売上原価	717,676	883,574
売上総利益	2,074,936	1,456,988
販売費及び一般管理費	1,986,449	2,226,315
営業利益又は営業損失( )	88,486	769,327
営業外収益		
物品売却益	44,933	-
金融派生商品収益	31,968	23,736
その他	41,574	7,398
営業外収益合計	118,475	31,135
営業外費用		
出資金運用損	22,820	24,301
為替差損	-	22,830
その他	916	2,805
営業外費用合計	23,736	49,937
経常利益又は経常損失( )	183,225	788,129
特別利益		
事業譲渡益	4,806	-
貸倒引当金戻入額	-	10,014
新株予約権戻入益	-	77
特別利益合計	4,806	10,092
特別損失		
固定資産除却損	-	49,383
契約解除損	-	19,800
貸倒損失	44,234	-
その他	14,805	655
特別損失合計	59,039	69,838
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	128,992	847,876
法人税、住民税及び事業税	4,259	1,970
法人税等調整額	146,541	112,942
法人税等合計	142,281	114,912
四半期純利益又は四半期純損失( )	271,274	962,788

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	128,992	847,876
減価償却費	32,418	36,406
減損損失	1,791	-
貸倒引当金の増減額( は減少)	36,498	58,735
固定資産除却損	5,797	49,383
投資有価証券売却及び評価損益( は益)	264	-
出資金運用損益( は益)	22,820	24,301
金融派生商品収益	31,968	-
受取利息及び受取配当金	9,460	5,648
売上債権の増減額( は増加)	227,792	322,447
たな卸資産の増減額( は増加)	40,849	95,890
未収入金の増減額( は増加)	6,386	27,613
前払費用の増減額( は増加)	239,546	435,097
前渡金の増減額( は増加)	63,728	6,659
保証金の増減額( は増加)	-	180,000
長期前払費用の増減額( は増加)	-	15,134
仕入債務の増減額( は減少)	45,096	5,764
未払金の増減額( は減少)	203,024	166,720
前受金の増減額( は減少)	18,174	1,129
預り金の増減額( は減少)	1,326	6,501
リース資産減損勘定の増減額	12,389	6,262
その他	6,048	8,261
小計	62,532	188,157
利息及び配当金の受取額	2,607	7,558
法人税等の支払額	6,971	4,169
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>66,896</b>	<b>191,546</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	1,000,000	-
有形固定資産の取得による支出	9,637	-
無形固定資産の取得による支出	57,675	55,658
敷金の差入による支出	45,921	692
敷金の回収による収入	-	115
差入保証金の差入による支出	83,203	-
差入保証金の回収による収入	1,131	30,689
投資有価証券の取得による支出	96,924	3,100
投資有価証券の売却による収入	97,189	-
貸付けによる支出	190,474	82,068
貸付金の回収による収入	190,474	17,698
金融派生商品の売却による収入	31,968	-
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,163,073</b>	<b>93,016</b>

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	42,206
自己株式の取得による支出	240,254	63,786
配当金の支払額	223,416	94,065
リース債務の返済による支出	-	441
財務活動によるキャッシュ・フロー	463,671	116,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,238	727
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,692,402	16,828
現金及び現金同等物の期首残高	6,360,999	4,858,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,668,596	4,842,068

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	コンテンツ 事業 (千円)	マスターライ ツ事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,555,002	237,610	2,792,612	-	2,792,612
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,555,002	237,610	2,792,612	-	2,792,612
営業利益又は営業損失( )	484,377	4,138	488,516	400,029	88,486

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

	コンテンツ 事業 (千円)	マスターライ ツ事業 (千円)	ファンディ ング事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,860,980	169,039	217,224	93,317	2,340,562	-	2,340,562
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,860,980	169,039	217,224	93,317	2,340,562	-	2,340,562
営業利益及び営業損失( )	526,180	29,410	24,012	24,054	496,812	272,515	769,327

## (注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、内部管理上採用している区分に基づき、市場及び事業形態を考慮して決定しております。

## 2. 各区分に属する主な事業内容は以下のとおりであります。

事業区分	事業内容
コンテンツ事業	モバイルコンテンツの企画・製作・配信、配信許諾、音源売却
マスターライツ事業	DVD、配信許諾、物販事業
ファンディング事業	金融商品の売買
その他の事業	広告事業、請求収納代行業務

## 3. 事業区分の変更

従来、事業区分は「コンテンツ事業」、「マスターライツ事業」、の2事業区分に分類しておりましたが、当第2四半期連結累計期間より、「ファンディング事業」、「その他の事業」を追加し4事業区分に変更しております。

なお、事業区分の追加であるため、前第2四半期連結累計期間との比較における影響はありません。

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,599,866	192,746	-	2,792,612	-	2,792,612
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,599,866	192,746	-	2,792,612	-	2,792,612
営業利益及び営業損失( )	542,834	54,100	216	488,516	400,029	88,486

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,312,649	27,913	-	2,340,562	-	2,340,562
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,312,649	27,913	-	2,340,562	-	2,340,562
営業利益及び営業損失( )	414,446	82,177	188	496,812	272,515	769,327

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北米.....米国

(2) 欧州.....英国

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)

	北米	計
海外売上高(千円)	192,746	192,746
連結売上高(千円)	-	2,792,612
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	6.9	6.9

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

	北米	計
海外売上高(千円)	27,913	27,913
連結売上高(千円)	-	2,340,562
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	1.2	1.2

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米.....米国

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	4,112,684	3,512,850	466,936	9,119	8,083,351
当第2四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当	-	97,764	-	-	97,764
四半期純利益(は損失)	-	-	962,788	-	962,788
自己株式の取得	-	-	-	63,786	63,786
新株の発行(新株予約権の行使)	29,192	29,192	-	-	58,385
当第2四半期連結会計期間末までの変動額合計	29,192	68,571	962,788	63,786	1,065,954
当第2四半期連結会計期間末残高	4,141,876	3,444,279	495,852	72,906	7,017,397

## (7) 重要な後発事象に関する注記

(自己株式の消却に係る事項)

当社は、平成22年8月6日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却について決議いたしました。その内容は以下のとおりです。

消却する株式の種類 普通株式  
 消却する株式の総数 17,585株  
 消却予定日 平成22年8月12日

本件により、その他資本剰余金が72,906千円減少する予定であります。